

金

Aブロックにエントリーされた全12作品を公開します。

覇者となったのは果たして誰??

<http://www.columnland.net/> にてごらんください。

男が降り立った街
砂漠の中に浮かぶ

幻影の都市 Las Vegas

人の欲望は

こんなにも美しかったのか

男は笑いだす

錆びついた夢振り払い

全てを砂漠に置いてきた

もう過去は見ぬ

失うものは何もない

今夜は全てを賭けていく

生きるか死ぬか決めてやる

財布の中身は200ドル

男の全てを持ってきた

男に女神は微笑むか

はたまた地獄の道程か

男は両手を広げ歌う

ベラージオの噴水ショー

今夜で全てを決めるのさ

お前にできるかこの勝負

伸るか反るかの大打

ブラックジャック

クラップス

一発逆転狙って

一回一回命を賭ける

1/36の心臓さ

回り出したルーレット

男は腹をくくったぞ

果てしなく長い数十秒

10000000...

\$ Las Vegas \$

男は叫んで 跳んだとき

勝利の女神が大笑い

夢にまで見た 金 金 金

星の数ほど舞ったとき

赤絨毯を駆け抜けて

ダウンタウンへ飛び出した

100ドル紙幣が溢れ出し

ばらまきながら走りだす

男は両手を広げ歌う

ベラージオの噴水ショー

一夜で全てを決めたのさ

神が生きろと言ったのさ

ふとした瞬間魔がさした

もう一度やればどうなるか

今夜の俺はついてるぞ

甘い匂いに誘われて

赤絨毯を歩きだす

その心全て果てるまで

魔法にかかった奴隷たち

いつでも扉は開いている

いつでも人を待っている

悪魔が仕組んだ幻の

男もそう またその虜

人は両手を広げ歌う

ベラージオの噴水ショー

札束の舞うその街で

時に 人は何を思う

時に 人はなぜ戸惑う

二人の王子

「幸せな王子」

昔々あるところに、身体は金、眼はサファイヤ、唇はルビーでできた王子の像がありました。誰もが王子を賞賛しました。でも、群がる大衆の中には貧しい子供や病気の老人がいて、王子は心を痛めていました：「そうだ、僕の眼を売ったお金でこの人たちを救えるかもしれない」。王子は像なのでうごけません。かわりに優しいつばめに協力してもらいました。眼の次は唇、身体：こうして王子はとうとう醜い金属の塊になってしまいました。町の人々はその塊が王子だったことも忘れていました。涙を流せる眼もない、話す口もない：でも王子は幸せでした。ちやほやされてた昔よりずっと。

「幸せな王様」

あるところに、贅沢が大好きな王様がいます。誰もが王様を賞賛しています。貧しい子供や病気の老人も一生懸命王様に尽くしました。それでも王様は満足することはありません：「そうだ、税金を上げればもっと贅沢ができるかもしれない」。王様は自分では動きたくありません。かわりに優しい家来たちに協力してもらいました。増税の次は他の国から人を盗みましました。ミサイルも撃ってみました。やりたい放題の王様は、とうとう他国の王様に嫌われてしまいました。でも王様は気にしません。自分を慕ってくれる民衆がまだいるうちは。

王様に是非聞いてみたい。本当に今幸せですか？

もしまだ像の王子のような優しい気持ちがちよっとでもあったら、今の自分を見つめなおしてほしい。

もしすでに王様は手遅れなんだったとしたら、

おい、その金王子！

同じ「金」王子なんだからちよっとは見習えよ、あのすばらしい精神を！

おまえならまだ間に合うって！

親父みたいな王様にはなるなよ…

私の父は静かな人だった。頑固者とか、恥ずかしがり屋とかそういう訳じゃなくて、ただあまりりしやべらない人だった。そして、少しでも歯を見せて微笑む人だった。

父は眉間にしわを寄せたような顔つきで、傍目からするといつも何かを考えてるような表情をしていた。私は子供の頃、その顔つきが怒っているようにも見えて、少しでも怖かったけど、休日には出かけたりに一緒に遊んでくれたりして私は父が大好きだった。

父は家にいるときは、時間があれば本を読んでいた。コーヒーを飲みながら薄い小説を丁寧に読んでいた。父はよく覚えていて、すると私は、父の膝の上に座って本と一緒に読んでいた。そして、そのまま寝てしまうこともしばしばだった。父のにおいと、コーヒーの苦そうな香りが混ざって、そして私は背中から父の暖かさを感じて、それがとても幸せだった。

私は父が怒っているところを見た覚えがない。私はやんちゃで男の子が遊ぶように泥遊びをしたり、よく怒られるようなこともした。母は私を長い時間叱りつけることはあったが、父はといえば諭すように「次はダメだよ。」と言って歯を見せて微笑むだけだった。そして、私は父の言ったことをしっかりと守った。

私は大きくなって、中学・高校と進学し、私は恋というものを知った。見かけただけで胸の高鳴るほど好きな人もいた。けど私は、デートをしてその人の手を一度握っただけで、付き合うことはしなかった。その人はあまりかっこいいとはいえない人だったけど、笑ったときの満面の笑みが私は好きだった。私は彼と一回のデートの時にいろいろなことを話した。けれど私はその一回のデートで、彼に対して抱いていた胸の高鳴りをどこかへ置いてきてしまったように感じた。

大学へ入って、私は文学部へ進んだ。そこで私は今の夫と出会った。彼はいつも教室の右隅にいて、本を読んでいた。彼は無口で冴えない人で、けど思慮深く優しい人だった。私は彼に対して、かつてのような胸の高鳴りは抱いてはいなかった。けれど彼と話していると、私は心の許せる心地よさのようなものをいつも感じられた。やがて私は彼という時間が多くなり、私の中で彼の占める部分が大きくなっていった。彼はというとあまり感情を口にしなかったけれど、少なくとも私といることを嬉しく思っていることは私に伝わってきた。

私は社会人になり彼との結婚を決めた。彼は私の家に挨拶に来て、口を出る言葉はやらとつつかえて冴えない様子は相変わらずだったけど、母が快く私たちの結婚を認めてくれた。父はというと母の横で黙っているだけで、私たちの結婚を喜んでくれないのかと心配だった。けれど父は、私が家を出るときに、小さく手を振って少しだけ歯を見せて「行ってらっしゃい」と言った。父も私の結婚を喜んでくれていた。私はそれが本当に嬉しかった。私は父に涙を見せないように、夫の手を握って家を出た。

やがて子供が生まれ、父はお爺ちゃんになった。そのときの父の喜びようと言ったら半端なかった。私が生まれたときも、こういう風に喜んでくれたかと思うと恥ずかしかったけど、父の愛情を受けてきたことを再確認するようでこみあげてくるうれしさでいっぱいだった。父の最大限の愛情を受けた自分が誇らしくもあり、子供にとって自慢のお母さんにならなきやと思った。

それからしばらくして父は病気を患い、あっさりと亡くなった。まだ還暦の前だった。父は病床でいつものように振るまい、死ぬ気配を全く見せずに、寝るように息を引き取った。

今、私の目の前には父の入った棺がある。やがて我が家を出て、土に還る。だから父と会うのはこれが最後。とつても悲しいけど、泣くのを必死でこらえる。そして少しだけ歯を見せて微笑んで言う。

「お父さん、行ってらっしゃい」

俺は今ものすくのが渴いている。右のポケットには500円ある。正確には500円玉が一枚だけある。そして目の前には自販機がある。色んな飲み物がズラーツと並び、激しく俺を誘惑してくる。

ここを我慢してもう二十分ほど歩けば、なんとか家に着く。家に帰ればよく冷えた麦茶が待っている。そうすれば余計な出費もなくて済むのだが――

しかし迷う。

おれは未だ決断できずに自販機を睨みつける。沈黙の時間が過ぎていく。

500円玉を握る手に汗が滲み、額にも玉のような汗が浮かぶ。

葛藤していると、割り込んで来たおばちゃんが自販機のジュースを買って飲んでいた。

「ぐびぐび」

（ゴクツ… う、うまそうだなあ。）

ついに俺は誘惑に負けて、拳の中の500円玉を投入口に差し込む。

ちゃりん

赤いランプが点灯する。

何でもいから早く飲みたくて、初めてみる黄色いラベルのコーヒーを連打する。

ダダダダ

ゴトン、ゴトゴトゴトン

し、しししまったあ！ これは痛恨のミス！

勢いあまって何度もボタンを押してしまった…

う、うわわつ、しかも熱い！？

このくそ熱い日にホットかよ！

ちよっと前までは手の中に小さな金色の500円玉一枚だったのに、今ではアツアツの黄色いコーヒーが三本。飲まなきゃごみになるだけだ、しかたない、飲むか。

ぐびり

甘つつつ！

なんだよこのコーヒーは！

MAX COFFEE (のMAX) ってなんだよ!!!

こんなの地元にはねえよ。

『価値』

電池を抜き取った目覚まし時計

1980円

押入れにて発酵中の教科書

15240円

当初の使用目的などにはもう見当たらないノートパソコン

219800円

シャープペンより長い間触るようになったマイ雀牌

3500円

人より少し長い学部生活

プライスレス

お金で買えない価値がある、お金で買えるものは東工大カード

とある夜、珍しく僕と彼女の帰る時間が同じになって、暗い夜道を歩いていたら、彼女は僕の手を掴みながら立ち止まった。

腕を引っ張る力を感じて僕が振り返っても、彼女は黙ったままだった。僕より頭一つ背が低い彼女の表情を、沈黙は何も語ってはくれない。仕方なく、問い掛ける言葉を発する寸前で、彼女のほうから口を開いたのだった。

「どうして、私といってくれるの?……」

月の見えない、真つ暗な夜のことだった。

そもそも、僕が密かに想いを寄せていた彼女に告白して、晴れて付き合うことになったのは三ヶ月前のことだった。

好きです、と僕が言うのと、こんな私でよければ、と彼女は返してきた。嬉しくて仕方がなかったけれど、そのときから、もうすでに彼女はそう思っていたかもしれないかった。

彼女は、いつもみんなと一緒にいて、よく笑うほうじゃなかった。最初話してみたときはとても静かな人で、付き合うなんて考えられない、と思っていたけど、あるとき見つけたんだ。

学校の中にある大きな芝生で、彼女は一人でも本を読んでいた。すぐ脇には、一輪の白い花が咲いていて、静かな風が彼女の髪と花を揺らしていた。

ふいに彼女は顔を上げて、…そのときにその花に気づいたらしい。ゆつくりと手を触れると、ふっと微笑んだ。それは、たまにみんなの前で見せる笑顔とはひどく違って見えた。

それから、気づいたら彼女を探して喋るようになって…静かさの中の、彼女の美しさは、僕をつかんで放さなかった。

彼女は、真剣なまなざしを僕に向けていた。決して、惚気などから出てきた言葉でないことは、僕も十分承知していた。

だから僕は、ずっと前のことを思い出していた。この問いにしっかりと答えられない限り、僕と彼女が本当に一緒にはいられない気がした。

「そう、よね…私は、他の人たちのように強くは輝けないもの。石のように何も言わずにそこにいて…静かにそこから消えるの。もう…」

「そんなことない!」

長い沈黙を彼女は非と取ってしまったのか、目をそらして続けられた言葉には、凄まじい悲しみが含まれていた。

僕は慌ててそれを止めるしかなかった。そう、僕が言いたかったのはそんなことではなかったから。

「そんなことないよ…僕は、君の笑顔が好きだよ。君が微笑むときは、石なんかじゃなくて、金みたいにちゃんと輝いてるよ」

彼女はまたこちらを向いてくれた。まだ信じられない、と言うような、複雑な表情を浮かべながらだったけども。

「もし君が石だったとしても…僕が錬金術で君を金に変えてみせるよ。」

世界中の誰にも分からなくても、僕だけは君の心の美しさを知っているから。

そのために、僕はずっと傍にいますから。

…だから…お願いだから、そんなことを言わないで、ずっと笑っていてほしいんだ」

彼女は、目に涙をため始めて…慌てる僕の前で、今にも涙がこぼれそうになったとき、ずっと笑顔に変わった。

その笑顔は、ひどくくしゃくしゃになつていたけど、どうしようもなく愛しくて、僕は自然に彼女を抱きしめた。

「そんな君も大好きだから。ずっと一緒にいよう」

僕の腕の中で、彼女がうなずいて、僕は彼女の風になびく髪をふわりとなぜる。

月は、分厚い雲の影から、その片鱗だけを見せていた。

「予定通り、今夜実行する」

俺達は黒手袋をはめた右の手を円陣の中央で重ね上げると、その手にぐっと力を込めた。

「それでは健闘を祈る」

その言葉を合図に皆は蜘蛛の子のように夜の街に散らばっていく。向かうは街の資産家の、金庫だ。

俺達の耳にその情報が入ったのは、二ヶ月ほど前だった。街一番の資産家の男ががつり金を溜め込んでいて、税金逃れのためにその金を自分の書斎の、厳重に警護された金庫に隠しているという噂。初め俺達は、そんな噂を齒牙にかけなかった。

しかし、確かにそいつの書斎には、そいつ以外誰の手が触れることも許されない金庫が存在する事が人伝に判明する。しかもそれを守る為にかけられたセキュリティを見ると、金ではないかもしれないが、相当に貴重かつ高額な物が中には入っているらしい。

そして俺達はそれを奪う為、資産家の自宅への侵入を実行した。

計画・準備に丸々一カ月半を当てたおかげで侵入は比較的容易に済んだ。数々のセキュリティシステムを無効化し、警備の人間や使用人をやり過ごし、時には気絶させ、家の最深部にまで潜り込む。要所には見張りも立て、手抜きはない。ついに辿り着いた書斎にいた資産家を、二人がかりで縛り上げ大人しくさせると、俺は金庫を開けにかかった。

何てことはない普通のダイヤル錠はものの数分でガラクタに変わり、俺は金庫を開けた。と、そこには一回り小さいサイズの金庫が鎮座している。だがそこに取り付けられた複雑な鍵も、俺の前では無力だった。なすすべもなく見えている資産家の顔がどんどん青ざめていくのが、横目にも分かり、誇らしくなる。俺は金庫の扉に手をかけると、ゆっくりとそれを開いていった。

「・・・・・・・・・・・・・・・・消しゴム？」

金庫の中にあつたのは、古びた消しゴムだけだった。取り出してよく見てみても、消しゴム以外の何でもない。それも新品ではなく、角は丸まり、紙はひしゃげていた。

俺が困惑してそれを眺めていると、青ざめた顔の資産家が、どうやったのか猿轡を外して必死に叫んだ。

「頼む……！ 頼むから、金でも何でもやるからそれだけは持って行かないでくれ……！！」

それは私が小学校の時好きだった女の子から借りた消しゴムなんだ……！！！！」

「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

俺はサングラス越しにしばらく仲間と目を見交わすと、近くの窓を乱暴に開け、それを思いっきり投げ捨てた。

資産家が一瞬安堵したような表情を浮かべた気がしたが、その時には深く考えなかった。

夏の風物詩

焼きそば、お好み焼き、わたあめ、祭りで辺りを見回して目に付くものは食べ物ばかりです。そんな中、誰でも一度はやったことがあるのが金魚すくいではないですか？救えたときのうれしさはなんともいえないし、救えなくてもおじさんが一匹くらいはプレゼントしてくれる。でも、それはかえって有難迷惑だったりするんですよね。だって、つれて帰っても2、3日で死んでしまうし・・・

でもそれは、私たちが金魚についてほとんど知らないからでしょ？祭りで毎年見かけて小さな子どもでも知ってる魚のはずなのに、意外と知らないことだらけなんですよ。金魚って十年くらいは生きられる魚なんですから、2、3日で死んでしまうなんてあまりにひどすぎませんか？（ギネス記録は43歳です！）

そもそもなぜ赤いのに金魚なんですか？

金魚はフナが突然変異して赤くなったものです。名前の由来は「光を受けて金色に輝くことから」というものらしいです。中国でも金魚だし、英語でも *goldfish* と言います。学名は「金色のフナ」という意味の名前がついているようです。

ところで金魚と一口に言いますが、どのくらいの種類があるのでしょうか？

答えから言うと現在全部で86種類だそうです。それも体系別に大きく分けると「和金」「琉金」「ランチュウ」の3通りになります。「和金」は金魚の元祖と言える非常に長い歴史を持つ金魚で、非常に丈夫で飼育しやすく大きく成長します。「琉金」は中国から琉球を経て日本にきたことからこの名がついたらしく、和金の突然変異により生まれた金魚です。飼育はやさしい方ですが、体型的に不安定なため、餌を与えすぎるとうまく泳げなくなってしまういます。「ランチュウ」は金魚の王様といわれ愛好会があるほどの金魚です。これも和金から突然変異によって生まれた金魚で、特徴は背ビレがない点です。

いろいろと話してきましたが、話を戻して、どうしたら長生きするのかについて話していきたいと思います。

最も多い失敗は金魚鉢で飼おうとすることです。金魚鉢って言うのだからいいだろうと思ってしまうですが、これでは水が少なすぎて酸欠や水質悪化になりやすく、その結果病気になるてしまいます。また、水道水を入れたりすると塩素があつて死んでしまうので日光に当てるなどの工夫が必要です。その他新しい環境に来て数日は消化不良などになりやすいので、餌を与えないことも重要でしょう。

金魚と言ってもとても奥が深いものです。大きさだって池など大きな場所で飼えば30cm 以上にもなります。それは言い過ぎとしても育て方によっては私たちも大きな金魚を飼うことは可能でしょう。今話した知識をもつておくだけでも2、3日で死んでしまうなんて事もなくなるのではないのでしょうか？

もし今年の夏、祭りで金魚を飼うなんてことになったらこれらのことには十分に気をつけましょう。金魚だって生きているんです。ちゃんと長生きさせてあげてください。

金色の髪

或る日、私が列車に乗った時の事である。

車内には四、五十人程の乗客が居り、少しばかり混んでいた。そのうちの一人に金色の髪をした若い女が居り、その女は随分大きな鞆を携えて、周囲の目を気にも留めず、白い粉を顔に塗っていた。

そのうち年よりも老けて見える四、五十代程の女が、列車に乗り込んで、私の隣に立った。この女は、鬼のような恐ろしい顔で金色の髪の女を何度も見つめて、やはり他の乗客と同様の事を思っていた。そんな事とは知らず、金色の髪の女は、次は、真っ赤な口紅を塗っていた。

しばらくして金色の髪の女は、電車を降り、四十代程の男と会って抱擁を交わしていた。そんな光景を、私や隣の女は眺めていたのだが、隣の女は、聞こえるか聞こえないかのような小さな声で「あなた」と囁いていた。

或る晴れた昼下がりの事であった。

未来の値段

「さあ、最終コーナーを回って最後の直線、どの馬が抜け出すか……」

俺は今月の生活費全て（といつても千円だが）をつぎ込んだ大穴狙いの馬券を握りしめ、周りに負けじと大声を張り上げた。

「残り50メートル。ここで12番が一步リード。そして、そのまま押し切ったー」

「くそつ、またかよ」

ただの紙切れになった馬券を投げようとしたそのとき、

「カガユウジさんですね」

突然名前を呼ばれ振り向いてみると、この場には不釣り合いなスーツを着た初老の男がいた。その男は名刺を取り出しながら、

「私はこういうものです」

「売買人 小林隆ですか。そんな人が俺にいったい何のようですか？」

「あなた様は『時は金なり』という言葉をご存知ですか？ 私はその言葉通り『時』を売買しているのです。そこであなたの時、つまり寿命を買いにきたのです」

「寿命を売買するってどういうことだよ」

「例えば、あなた様が寿命を1年売った場合、あなた様にはその分のお金が支払われますが、寿命が1年短くなるのです。逆に買った人はその分寿命がのびるのです。そこで私はあなた様から寿命30年を1億円で買いたいと思っております。いかがなさいますか？」

俺は悩んだ。この時27歳にもなって定職にも就かず、ギャンブル・酒・タバコの繰り返して借金数百万にもなっていたし、心の底ではこのままではヤバイという思いが強かった。そして男のどこか有無をいわせぬ迫力に心は決まった。

「わかりました」

「契約完了です」

ワァーッ

周りの歓声の大きさに俺は目を覚ました。そして辺りを見渡してみたが男の姿は消えていた。

「なんだ、夢か。良かった」

冷静になってみると1億円もの金は惜しいが、さすがに寿命30年はきつすぎる。

「さあ、最終コーナーを回って最後の直線、どの馬が抜け出すか……」

「あれっ、これどつかで聞いたような」

「残り50メートル。ここで12番が一步後退。なんと勝ったのは大穴の7ばんっ、7番です。この順位ですと、3連単で1000万馬券が出ました。」

俺は手のひらの中の1億円を握りしめた。

金欠

柿食へば

金が去るなり

法隆寺

正丘子規

一つ頭が良くなる話

昔々、ある所に、おじいさんがいておばあさんはいませんでした。

ある日、おじいさんは、意気揚々と山へ芝刈りと洗濯に出かけました。

おじいさん「いいーやあアー……ツツオおうっ……！」

さて、おじいさんがお昼ごはんを食べようと、持ってきた包みを開くと、中からタラコが滑り落ちて、山の斜面を転がって行きました。たらこりん。たらこりん。

タラコは、斜面の先の泉の中に落ちてしまいました。おじいさんが困っていると、なんと、泉の中から女神様が現れて、こう言いました。

女神「貴方の落としたのは、この『金のタラコ』ですか？それとも、『銀のタラコ』ですか？それとも、『普通のタラコ』ですか？それとも、『高級明太子』ですか？」

おじいさん「ぜんぶ★」

おじいさんはそう答えました。これにはさすがの女神様も少し焦りました。

女神「……選べるのは、どれかひとつだけ」**「待った！！！！」**

おじいさん「今、貴方は『一つだけ』と言いましたね？しかし、私が落とした『普通のタラコ』に対して、他の三つの物品は明らかに高額。これは我国の賭博法第4649条『過度の高額景品の陳列』に抵触するのは明白。更に、まだ私と貴方との間で『賭博の契約』が『口頭の契約』ですら交されています。〈中略〉故に、この選択の機会は無効であり、更に貴方は契約を結ばずに賭博を行おうとした事による刑法37564条『違法賭博』罪、及び私からタラコを搾取しようとした刑法5963条『詐欺』罪に問われる可能性があります。」

女神様は言い負けました。女神様は、「何かもう疲れた……。」と言い残し、三種のタラコと明太子を残して泉の中に消えました。すると、なんと金と銀のタラコから声が聞こえてきます。

「ワレを身にまどえーワレを身にまどえー」

言われるままに、おじいさんは金のタラコを上唇に、銀のタラコを下唇に付けます。その時、タラコから眩い光が発せられ、光の中で、タラコとおじいさんの唇は融合していきます。おじいさんは思い出しました。そう、おじいさんが子供の頃から聞かされていた伝説。

「その者、金銀のタラコをまどい、金色の野に降り立つべし」

その伝説が今、光で金色になった泉のそばの野原で、現実となったのです。

次の日、おじいさんは、隣のいじわるなおじいさんにその話をしました。いじわるなおじいさんは、その話とおじいさんの金銀の唇にあきれて、何も言えませんでしたとさ。

こうして、「タラコ唇」は、「如何なる状況でも言葉巧みに相手の心理を自分の思惑通りに誘導する事に長けた人物」のことを指すようになりました。古代中国でも、「巨唇列伝」の中に、知略に長けた賢者「鱗子(たらし)」の記述があります。その意味は時と共に薄れ、現在では、外見である「唇がタラコ」の様に大きい様子」だけを指すようになっていきます。

コンテスト結果				
[Aの部]				
コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	ある採点官の悩み～世の中そりゃそうだけど～	5 pt	7 位	2 sp
		発想よし！ レイアウトよし！ 人生観よし！ 小学生の爆笑解答のような、とても楽しい今週の表紙でした。 特別賞：すれた大人にしないようにしま賞（初問題形式）/丸で賞（フォントが丁寧、おもしろい） イチオシフレーズ：「金欲」×3		
A02	戦闘民族の頭髪	20 pt	2 位	5 sp
		ドラゴンボールのアカデミック解説。がつつり科学的なところが読者層を意識。 その昔(=1991年)、『ウルトラマン研究序説』なんてのが流行って、その時以来ですね、こういうジャンルができたのは。 N A T U R Eなんぞで落とさずに、がんばって一冊にしてベストセラーを目ざしてくださいませ。 特別賞：サイヤ人賞（真剣なバカ）/M字ハゲ賞（メラニン色素がツボに）/the東工大生で賞（アホらしさが東工大生らしいから）/マニュアル賞（話がとても論理的）/ドラゴンボール賞（ネタが良い） イチオシフレーズ：「エム字ハゲ」「フリーザは待ってくれない」		
A03	石壁	8 pt	6 位	1 sp
		遠い歴史になってしまったがゆえに語れる悲しい過去がある。欲に駆られた人間たちと嘲笑するのはカンタンだけど、その言葉はすぐさま私たちに返ってきて…… そんな自省の思いに誘われる、遠くまでしっかり視線が届いた作品でした。石壁の文字という具体的なイメージが、うまく効いています。 歴史する視線、またぜひこんな静かな作品を。 特別賞：文章がうまいで賞		
A04	金は天下を回す物	22 pt	1 位	2 sp
		うまいなあ。タイトルでいきなりはじけて、勢いよく本文へ。超ジャガ、赤ジャガ、白ジャガ♪ 匂いすかしに道産子差別。いや発想力、おみごとでした。 そして、読み終えて後に残るのは、貨幣って何？ という人類通有の重～い問い。 おもしろくって哲学もちゃあんとある、なかなかグレートな作品でした。戦闘民族の猛追を振り切ったの首位、おめでとう!!! 特別賞：ジャガイモ賞/5千円がない賞 イチオシフレーズ：「道産子にあらずんば人にあらず」		
A05	金欠一人暮らし	0 pt	11 位	0 sp
		CM風。ぱっぱっぱっと絵で見せて、さくっとキャッチコピー。 流れはできてるけれど、値段表記など、より細かくリアルにすると楽しさがもっとふくらむのでは。 イチオシフレーズ：「単位のためにこれを書くのにかかった時間 priceless」「お金で買えない価値がある」		
		9 pt	4 位	1 sp

A06	A tale of an adventure	海賊気取ってチャリンコで出港！ 落差がユーモラスでフォントの対比も小技として効いてます。後悔など恐れないのが冒険心。夏へ向けてボン・ボヤージュ！ 夏と若さが全開の爽快な作品でした。 特別賞：大航海賞（おもちゃの缶詰をGETしたことがあり共感できたから） イチオシフレーズ：「大後悔時代…なんつって」×2 「金（きんのエンゼル） 銀（ぎんのエンゼル） 財宝（おもちゃのカンヅメ）」
A07	ミツカン様へ	0 pt 11 位 0 sp コント風。ノリも上々。 なによりの良さは、納豆へ行ったのは75人のうち、ただ一人という天涯孤独のユニークさ。その発想力をたたえて賞品は納豆にしよう！という機運が一時盛り上がったのは秘密です。
A08	一番じゃない	1 pt 10 位 0 sp ドンペリコールとかディテールをよく調べてあるなあ、と感心。豆知識が増えました。 ラスト1行、「金は、一番じゃない」。ずしりと哲学入ってますね。しっかり着地はしたけれど、ストーリーがシンプル過ぎの感があるので、この真逆の人生と対比してみてもおもしろかったかも。
A09	とある総理大臣と総書記の会話	9 pt 4 位 1 sp お約束のノースコリア・ネタ。A B一つずつお出ましです。 会話で聞かせて、国家間の重大事なのにご近所トークに化けちゃった落差がおもしろさでした。 特別賞：テポドン賞（インパクト） イチオシフレーズ：「じゃあもう一本いっとく？」×2
A10	スーパースター	10 pt 3 位 0 sp スポーツものには、なぜか夕陽がよく似合う。これはその上に、宵の明星まで連れてきていただいたので、まさに無敵の感がありました。 少し先を行く先輩の背中を真っ直ぐ見つめて歩いてゆく気持ち。読者もしっかり連れてゆく共感パワー大の語りです。特に、ラスト近くの「先輩、俺今恐くてたまらないです」からの転調加減が、クサクならずストレートな感情を伝えてうまいなあ。 こういうしっとりした作品を3位に選んでくるあたり、Aブロックの読み手さんもまたなかなか。
A11	幸せ	4 pt 8 位 2 sp ぬ？ これはハーゲンダッツをお茶会で出せ、という要求か？ ということで叶えてみました特別お茶会。楽しんでいただけたでしょうか。 お金持ちの夢がハーゲンダッツだなんて、そのささやかさに笑いつつ、等身大トークに共感。ちょうど眠る前にぼんやり思うような、そんな力の抜け具合がこちよかったです。 特別賞：◎賞（なんか良かった）/俺もそう思うで賞 イチオシフレーズ：「アイスは迷わずハーゲンダッツ」
A12	金井と金子	2 pt 9 位 1 sp

		ラストは孤独な幽霊さん。 金井と金子、出席番号順の席なんでしょうね。夕陽に照らされたくたびれた財布が悲しみを誘います。 そして誰もいなくなって……一幕の劇を見終わったような、裏表紙にふさわしい作品でした。 特別賞：金子賞（委員長推薦により）
--	--	--

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	\$ Las Vegas \$	9 pt 欲望の街ベガス。地名の持つイメージ喚起力を最大限に引き出して、あの砂漠の街の魔力がひしひしと伝わってきます。 ベラージオにクラップス。ていねいに調べられたフレーズたちが力強く宙に舞う。ショーの始まり気分の今週の表紙でした。	3 位	0 sp
B02	二人の王子	6 pt こちらの首領は童話を添えて。 届くはずなどないけれど、この閉塞状況、どうにかしてよね王様ならば、という祈りに似た気持ちが冗談めかした口調のあいまから伝わってきます。 特別賞：金賞（意外と深い）/万歳（マンセー）賞/金（キム）賞（きわどいネタでよくがんばった）	5 位	3 sp
B03	沈黙と雄弁	6 pt みっしりと書き込んで立ち上がってくる骨太の父親像。 ラストに響き「行ってらっしゃい」がせつない。たんたんと述べているのに、ずしーんと。沈黙は金、というタイトルにこめられたお題が気づかれにくかったか。 特別賞：お題スルー賞（「金」がどこか分からなかった）	5 位	1 sp
B04	若さと、情熱と	1 pt 調べてみました。地域限定の甘〜いコーヒー、とか。 みごとに自販機のワナにはまったくやささがせつせつと。ド派手な黄色い缶の目にしみるイエロー、よりハゲしく描写してみてもおもしろかったのでは。 キャンパスで買えるんだそうで、探してみてくださいませ。 特別賞：ダダダダ賞（MAX COFFEEのチョイスが良い）/Max賞（着眼良し） イチオシフレーズ：「こんなの地元にはねえよ」	10 位	2 sp
B05	価値	4 pt こちらも一つCM風。価格設定も緻密に、1行1行にていねいにネタが仕込んであって楽しかったのですが、ラストが楽屋オチっぽくてちょっと残念。 特別賞：プライスレス賞（本当に貴方大丈夫ですか？）/あるある賞 イチオシフレーズ：「発酵中の教科書」	8 位	2 sp
B06	Smile Alchemy	0 pt 出ました！ セカチュー的純愛まっしぐら。 ベタだなあと笑いつつ、でも気づけば、しっかり感情移入して、くしゃくしゃの笑顔をいとおしくなっている自分がいる。 総身が総毛立つ、もとい、うっとりする口説き文句を貫いて貫いて、ついに本選をゲットしたto get herさんに拍手！ 特別賞：香取賞/作者出てこい賞（セリフがくさい）/実際に言われたら引くで賞/はずかしいで賞（甘ずっぱ） イチオシフレーズ：「もし君が石だったとしても僕が錬金術で君を石に変えてみせるよ」×3 「どうして、私といってくれるの？」 ということで、ポイントこそgetできなかったものの、みごと最多特別賞受賞get、かつ渾身の口説き文句も大ヒットでした。	11 位	4 sp
B07	本当の宝は消しゴムの中	10 pt おお、なるほどね！ とラストでナットクのどんでん返しでした。 消しゴムという小道具がうまいなあ。懐かしさを誘いつつ、モノも隠せちゃう両面性に着目した組み立てがナイス。 できればタネアカシをタイトルでなく、描写の中で見せたかったか。 ミステリーなんだけど、なぜか猿轡がわけもなくはずれちゃう、なんていう展開のバカバカしさに大ウケです。作風変えての価値ある2位、おめでとう。	2 位	0 sp
B08	夏の風物詩	8 pt ようやく出ました、（一部）TA陣待望の正統派コラム。今日は金魚のお勉強。 由来は、品種は、そして長生きさせるコツはね？ とすっきりした構成で親しみやすく読めました。 しかし、池のないふつうのおうちはどうしたらよいのでしょうか？ 特別賞：逆に新鮮で賞（コラムだから）/これぞ一つ頭が良くなる話で賞（本当のコラムで良かった）	4 位	2 sp
		0 pt	11 位	0 sp

B09	金色の髪	金髪に真っ赤な口紅、派手派手しく、でも謎な光景が続いたあとの「あなた」のひとことが大インパクト。 誰に何を伝えたい「あなた」だったのか想像が刺激されます。実際、何だったのでしょうか？ イチオシフレーズ：「あなた」
B10	未来の値段	6 pt5 位0 sp こちらは「手のひらの中の1億円」が大インパクト。 白昼夢。競馬のスピード感に乗せて、ぐいぐい運んで、説明っぽいところがほとんどないのに、ああなるほどねとラストですとんと着地。 ストーリーの削り方の、ひとつ模範となりそうな手際良い展開でした。
B11	金欠	3 pt9 位0 sp ラスト近くはお疲れでしょう。んで、さくっと戯れ句。 理屈は通ってるけど、なぜに「法隆寺」かが謎。
B12	一つ頭が良くなる話	37 pt1 位1 sp 「アンドレ、恐ろしい子」と、まずは期待通りのセリフを進呈。 え〜毎度バカバカしいお笑いを一席。今回はウラ表紙にてお目見えです。 よいですね〜、刑法責めに中国古典、いわゆるひとつの縦横無尽というやつですね。もう、唾然とするしかありません。 がつつりポイントも稼いでいって、ついでにイチオシフレーズ大賞もさらって、とにもかくにも念願の首位！！！！ おめでとう&唐揚げくんに宜しく。 特別賞：たらこ賞 イチオシフレーズ：「いいーやああァー――ツつふおおううう！！！」×3 「ぜんぶ★」×3 「たらこころりん。たらこころりん」「昔々、ある所に、おじいさんがいておばあさんはいませんでした」